

2023年12月期 第3四半期 決算補足説明資料

井関農機株式会社

2023年11月14日

1. 2023年12月期第3四半期 業績の概要
2. 2023年12月期 業績予想



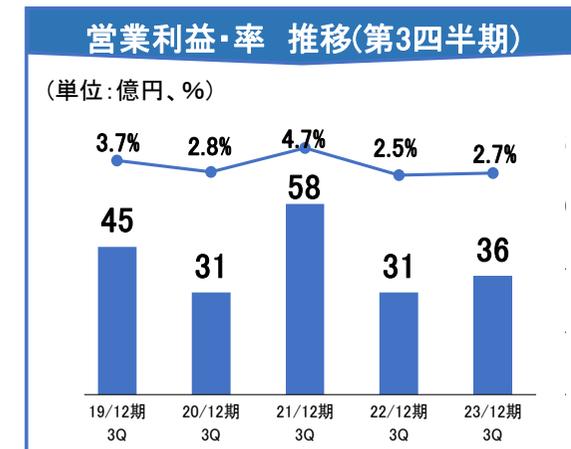
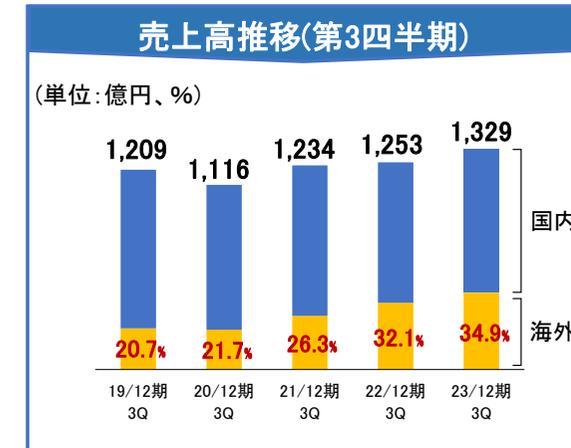
食と**農**と**大地**の
ソリューションカンパニー

1. 2023年12月期第3四半期 業績の概要

<第3四半期業績>

国内外増収、営業増益

- 国内 : 価格改定(4月)の駆け込み需要反動減はあるもメンテナンス収入・施設工事の増加もあり全体では増収
- 海外 : 北米コンパクトトラクタ市場は調整局面継続も、欧州・アジアの増加により全体では増収
- 収益 : 増収や価格改定効果などにより売上総利益は増益、率改善販管費の増加もあって営業利益の増益幅は縮小



<通期業績予想>

足許の状況等踏まえ下方修正

連結業績の概要

(2023年1月1日～2023年9月30日)

(単位: 億円、%)

	19/12期 3Q実績	20/12期 3Q実績	21/12期 3Q実績	22/12期 3Q実績	23/12期 3Q実績	前年 同期比
売上高	1,209	1,116	1,234	1,253	1,329	+ 75
(国内)	959	874	909	850	865	+ 14
(海外)	249	241	324	402	464	+ 61
売上総利益	358	331	372	372	398	+ 25
売上総利益率	29.6%	29.7%	30.1%	29.7%	30.0%	+ 0.3%
営業利益	45	31	58	31	36	+ 4
営業利益率	3.7%	2.8%	4.7%	2.5%	2.7%	+ 0.2%
経常利益	32	28	65	38	38	0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	21	24	47	34	20	△ 14
為替平均 レート(円)						
米ドル	109.6	107.8	107.8	124.9	136.4	+11.5
ユーロ	123.2	120.6	129.6	133.9	147.1	+13.2

国内売上高

前年同期比
+14億円

価格改定(4月)の駆け込み需要反動減などもあり農機製品は減収も、メンテナンス収入・施設工事の伸長により全体では増収

(単位:億円)		19/12期 3Q実績	20/12期 3Q実績	21/12期 3Q実績	22/12期 3Q実績	23/12期 3Q実績	前年 同期比
農機 製品 関連	整地機	213	173	188	181	170	△ 11
	栽培機	80	64	72	65	59	△ 5
	収穫調製機	141	119	117	114	113	0
	小計	434	357	378	361	344	△ 17
	作業機	171	152	179	152	154	+ 1
	部品	118	119	118	119	123	+ 4
	修理収入	43	44	45	44	45	+ 1
	小計	333	316	343	316	323	+ 7
	計	767	674	721	677	667	△ 9
	施設工事	40	56	36	32	48	+ 16
その他農業関連	152	143	151	140	148	+ 7	
合計	959	874	909	850	865	+ 14	

主な増減要因(前年同期比)

- ✓ 農機製品は価格改定実施に伴う4月以降の反動減などにより減収
- ✓ 収支構造改革の柱であるメンテナンス収入は伸長(部品、修理収入)
- ✓ 施設工事は大型工事により増加

海外売上高

前年同期比
+61億円

北米コンパクトトラクタ市場は調整局面継続も、欧州・アジアの増加により全体では増収

(単位:億円)	19/12期 3Q実績	20/12期 3Q実績	21/12期 3Q実績	22/12期 3Q実績	23/12期 3Q実績	前年 同期比
北米	101	92	113	131	107	△ 23
欧州	99	92	133	198	276	+ 77
アジア	44	54	73	67	70	+ 2
その他	3	2	3	5	10	+ 4
連結売上高 合計	249	241	324	402	464	+ 61

主な増減要因(前年同期比)

- ✓ 北米：コンパクトトラクタ市場の調整局面が継続し減少
- ✓ 欧州：値上げ後も小売店の需要が堅調に推移したことに加え、前年下期よりISEKIドイツを連結子会社化したこともあり増加
- ✓ アジア：中国向け生産用部品の出荷増により増加

営業利益

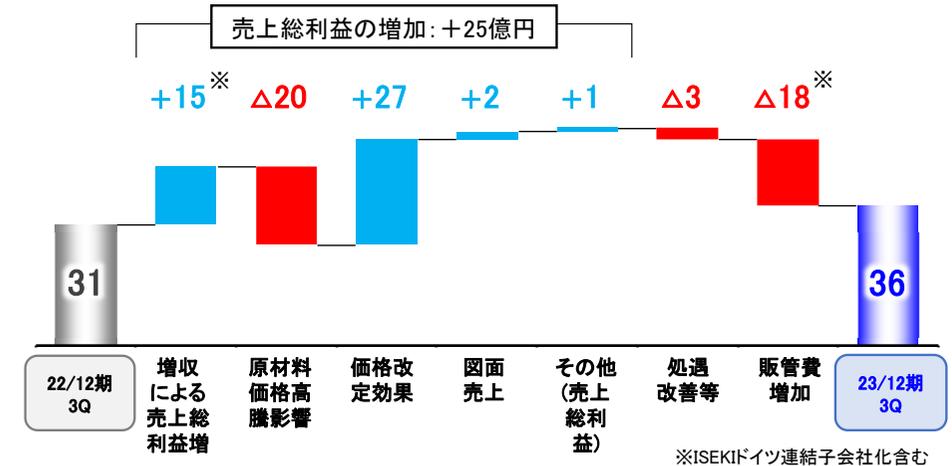
前年同期比

+4億円

増収や価格改定効果などにより売上総利益は増益、率改善
販管費の増加もあって営業利益の増益幅は縮小

(単位: 億円、%) 【営業利益増減内訳(前年同期比)】

	19/12期 3Q実績	20/12期 3Q実績	21/12期 3Q実績	22/12期 3Q実績	23/12期 3Q実績	前年 同期比
売上高	1,209	1,116	1,234	1,253	1,329	+ 75
売上総利益	358	331	372	372	398	+ 25
売上総利益率	29.6%	29.7%	30.1%	29.7%	30.0%	+ 0.3%
販管費	312	299	313	341	362	+ 21
人件費	183	179	185	193	206	+ 12
その他経費	129	119	128	147	156	+ 8
営業利益	45	31	58	31	36	+ 4
営業利益率	3.7%	2.8%	4.7%	2.5%	2.7%	+ 0.2%



【為替影響(億円)】

売上	原価	販管費	営業利益
+25	$\Delta 17$	$\Delta 4$	+4

経常利益、四半期純利益

経常利益
前年同期比
0億円

経常利益: ESGファイナンスの組成や有利子負債増に伴う金融費用増
税前利益: 前年同期に計上したISEKIドイツ連結子会社化による特別利益の剥落

(単位: 億円)	19/12期 3Q実績	20/12期 3Q実績	21/12期 3Q実績	22/12期 3Q実績	23/12期 3Q実績	前年 同期比
営業利益	45	31	58	31	36	+ 4
金融収支	△5	△5	△4	△5	△11	△ 6
その他営業外損益	△6	1	11	12	14	+ 1
経常利益	32	28	65	38	38	0
特別利益	1	6	0	8	0	△ 7
特別損失	△2	0	△2	△2	△1	0
税前利益	31	34	63	44	37	△ 6
税、税調整額	△10	△10	△15	△9	△16	△ 7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	21	24	47	34	20	△ 14

【その他営業外損益の主な内訳】

(単位: 億円)	22/12期 3Q実績	23/12期 3Q実績
為替差益	10	11
持分法による 投資損失	△4	△3

【特別利益の主な内訳】

(単位: 億円)	22/12期 3Q実績	23/12期 3Q実績
段階取得に 係る差益	5	-
負ののれん 発生益	2	-

バランスシート

前年同期末比

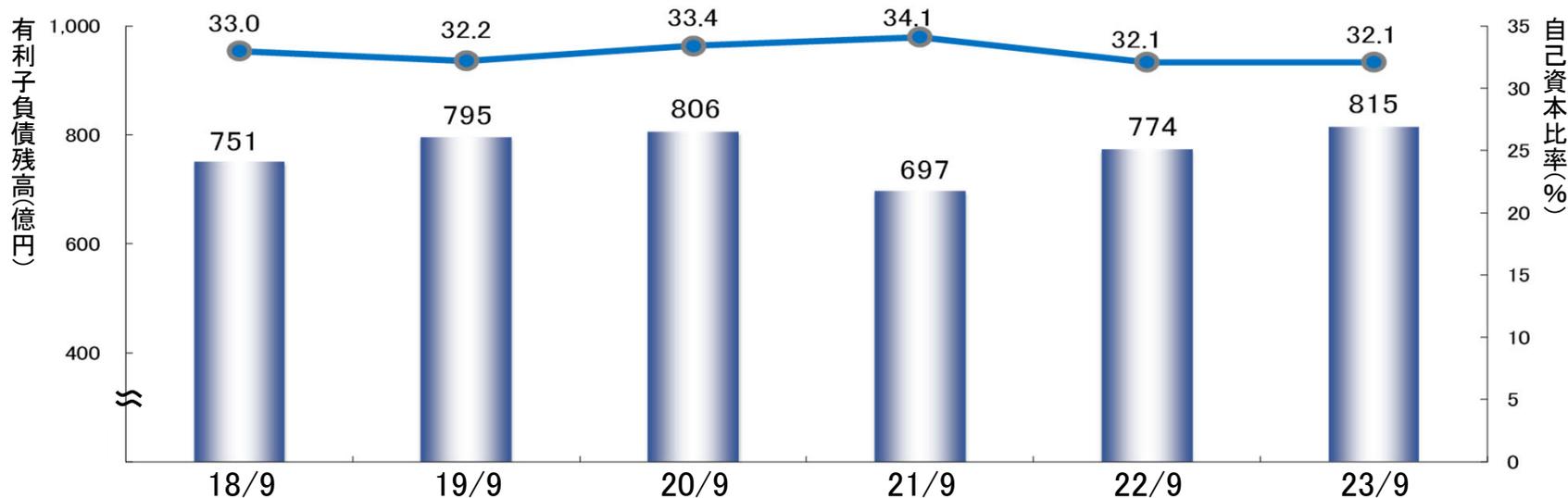
国内農機製品の売上減少及び、下期から販売を開始した国内向け新型トラクタや前期低水準であった欧州向け在庫の積み増しにより棚卸資産が増加

(単位: 億円)	22/9月末	23/9月末	前年 同期末比		22/9月末	23/9月末	前年 同期末比
現金	151	93	△ 57	仕入債務	420	433	+ 12
預金				有利子負債	774	815	+ 41
売上債権	331	379	+ 47	(借入金)	(700)	(744)	(+44)
棚卸資産	620	718	+ 98	その他負債	203	215	+ 11
(商品及び製品)	(504)	(609)	(+104)				
(仕掛品)	(100)	(94)	(△6)				
その他流動資産	42	40	△ 1				
流動資産計	1,145	1,232	+ 86	負債合計	1,398	1,463	+ 64
有形固定資産	858	845	△ 12	純資産	725	760	+ 35
無形固定資産	24	23	△ 0	(利益剰余金)	(204)	(225)	(+20)
投資その他資産	95	122	+ 26				
固定資産計	978	991	+ 13				
資産合計	2,123	2,224	+ 100	負債純資産合計	2,123	2,224	+ 100

自己資本比率・有利子負債

有利子負債
D/Eレシオ

棚卸資産の増加見合いで有利子負債が増加
D/Eレシオは1.07倍



借入金・社債	688	723	727	622	700	744
リース債務	63	71	79	74	74	70
有利子負債 計	751	795	806	697	774	815
D/Eレシオ	1.05倍	1.14倍	1.14倍	1.03倍	1.07倍	1.07倍

※D/Eレシオ=有利子負債/純資産 ※リース債務を含む

2. 2023年12月期 業績予想

2023年12月期 連結業績予想



連結業績予想

【前回予想比】

国内売上高：価格改定実施に伴う反動減などによる農機製品の減少
 営業利益：国内売上高の減に伴う売上総利益の減少

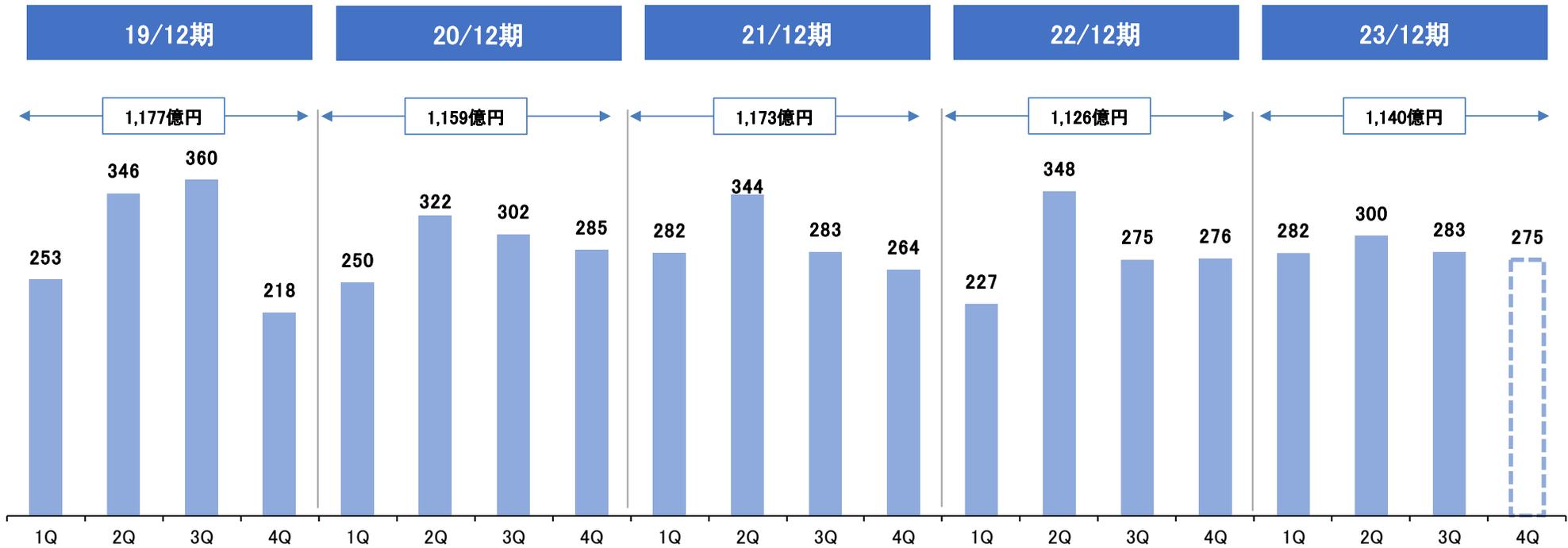
※1 当初予想：2023年 2月14日公表予想
 ※2 前回予想：2023年 8月 9日公表予想
 ※3 今回予想：2023年11月14日公表予想

(単位：億円)	19/12期 実績	20/12期 実績	21/12期 実績	22/12期 実績	23/12期			前期比	前回 予想比	
					※1 当初予想	※2 前回予想	※3 今回予想			
売上高	1,498	1,493	1,581	1,666	1,765	1,765	1,690	+ 23	△ 75	
(国内)	1,177	1,159	1,173	1,126	1,215	1,215	1,140	+ 13	△ 75	
(海外)	321	333	407	539	550	550	550	+ 10	0	
営業利益	27	20	41	35	45	45	25	△ 10	△ 20	
率	1.8%	1.4%	2.6%	2.1%	2.5%	2.5%	1.5%	△0.6%	△1.0%	
経常利益	11	17	46	37	40	40	23	△ 14	△ 17	
親会社株主に帰属する 当期純利益	7	△56	31	41	26	26	5	△ 36	△ 21	
為替平均レート (円)	米ドル	109.3	107.0	109.0	131.3	130.0	136.8	139.3	+8.0	+2.5
	ユーロ	121.6	121.5	129.8	136.9	140.0	146.5	148.3	+11.4	+1.8
期末配当(円)	30	0	30	30	30	30	30	-	-	

四半期別業績見通し

国内売上高

(単位: 億円)



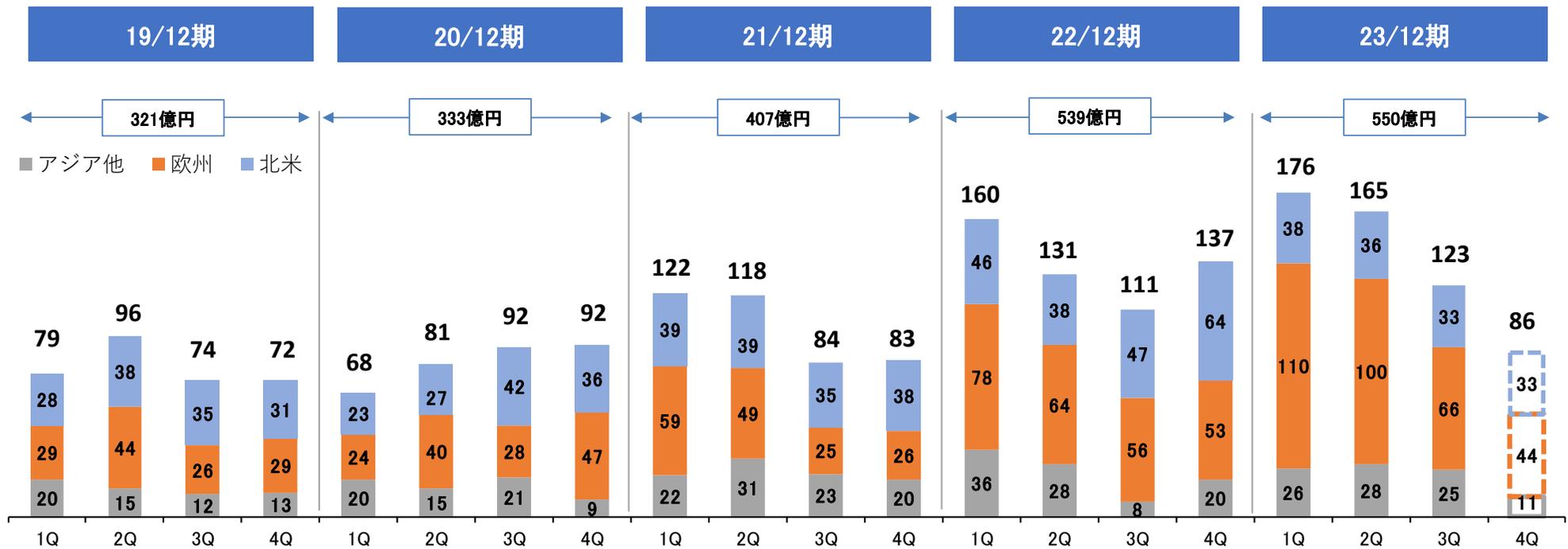
23/12期見通し

- ✓ 1Qは価格改定前駆け込み需要を捉え前年同期比増収も、2Qはその反動により上期では微増
- ✓ 3Qは新商品等で増収を計画も、前年同期比微増
- ✓ 4Qは前年同期並みで、通期では前期比微増にとどまる見通し

四半期別業績見通し

海外売上高

(単位: 億円)

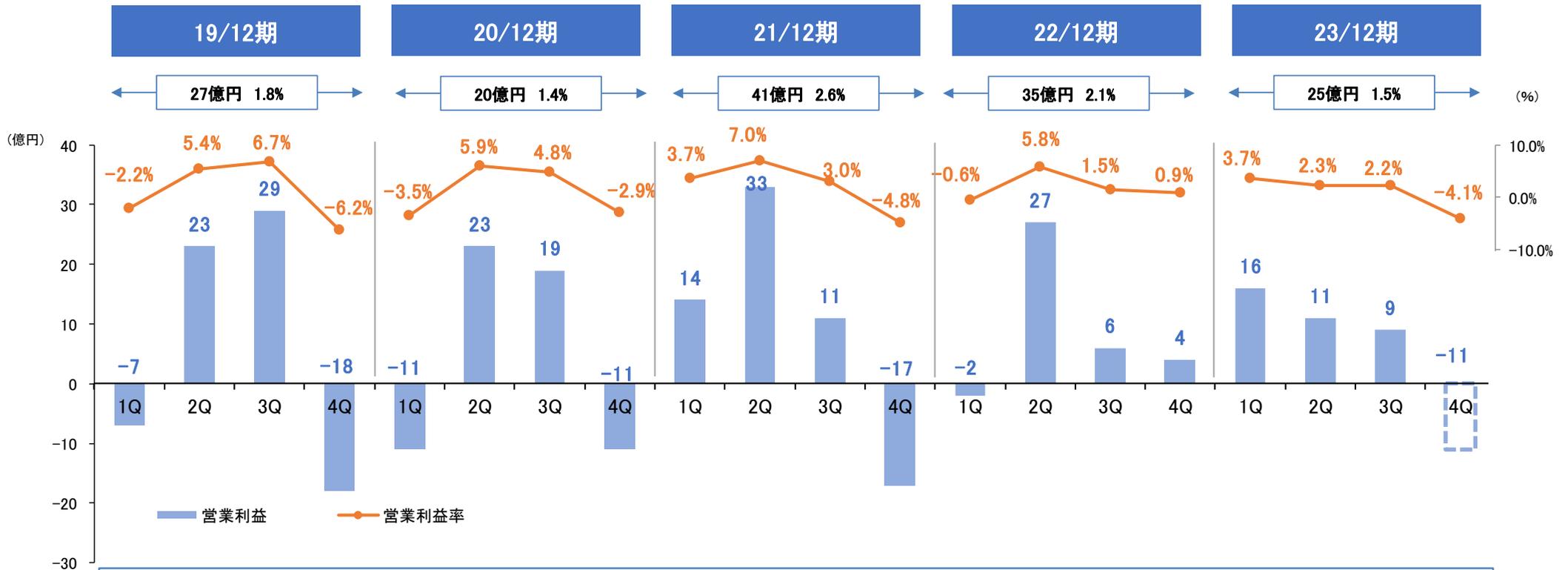


23/12期見通し

- ✓ 円安の影響はあるものの、連続して最高売上高更新の見通し
- ✓ 4Qは主に北米の減が起因し前年同期比減少

四半期別業績見通し

➤ 営業利益、営業利益率



23/12期見通し

- ✓ 1Qは価格改定前駆け込み需要を捉えた国内売上高増により増益も2Q以降反動減
- ✓ 4Qは売上減少もあり赤字見通し、通期で前期比減益

■ 構造改革「プロジェクトZ」の設置（2023年11月14日付）

- ・目的: 次の100年に向けて、開発・生産・販売の抜本的構造改革を実施
- ・構成: 「プロジェクトZ」リーダー 代表取締役専務執行役員 小田切 元
「プロジェクトZ」副リーダー 執行役員 高橋 一真

■ 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」

- ・検討中（2023年11月14日CG報告書掲載）
- ・2024年2月開示予定（期末決算発表時）

将来の見通しに関する記述についての注意

- ・本資料は、情報提供を目的として作成しており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、潜在的リスクや不確実性が含まれており、経済情勢や市場動向の変化等により実際の結果と必ずしも一致するものではありません。
- ・ご利用に際しては、ご自身の判断でお願い致します。

本資料に掲載している業績予想や目標数値に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。



未来の
ために、
いま選ぼう。

井関グループは、
環境省による地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を
促す国民運動である【COOL CHOICE】の取組みに賛同しています。
「賢い選択」の提案として「エコ商品」など
環境に配慮した商品の開発普及を推進しています。

食から日本を考える。

**NIPPON
FOOD
SHIFT**